

第1回 SNS カウンセリングシンポジウムのご報告

2018年5月10日（木）、参議院議員会館（東京都千代田区）にて、一般財団法人全国 SNS カウンセリング協議会主催の「SNS カウンセリングシンポジウム」を開催いたしました。

第1回となる今回は、厚生労働省が定める平成29年度「自殺対策強化月間（3月）」に SNS 相談事業を実施した11団体の代表にご登壇いただき、実際に SNS カウンセリングを行うことで得られた知見や問題点をお話いただきました。

会場には、150名を超える方々がお越しくださり、その中には SNS カウンセリングについて学びたいとおっしゃる国会議員の方々、カウンセラーの方々、また、報道の方々も多く見受けられました。

シンポジウムでは、一般社団法人全国心理業連合会の浮世満理子代表理事がモデレータとなり、パネリストたちに次々に質問。

これに対して、パネリストの一人である、特定非営利活動法人 NPO 亀岡人権交流センターの友永まや事務局長からは、「これまでの対面相談では、ファーストステップとして家族、セカンドステップで家族と本人、サードステップでやっと本人と繋がるが多かったが、LINE 相談ではファーストステップからご本人と繋がることのできるようになった」と、SNS カウンセリングが持つアクセシビリティの高さについての言及が得られました。

一方で、認定 NPO 法人育て上げネットの工藤啓理事長からは、「相談員の給料など、コストの話をなくして進めていくのは難しいと思っている。理念先行型では、現場で必死に対応する方々が非常に厳しい状態になるのではないかと」と、カウンセラーに対するサポート体制への問題も提起されました。

その他にも、スマートフォンを持たない子どもへの対応や、SNS カウンセリングで繋がったあとに必要な現実社会での受け皿づくりなど、多様な角度からの気づきや問題が報告されました。

これらを受けて、モデレータの浮世氏は、「最終的には、皆さんがお気づきになったさまざまな知見を、ひとつのテーブルの上に乗せて連携していくことこそが、今後の子どもたちへの支援や自殺防止においても、非常に大切ではないかと感じている。協議会全体として、日本の中で役立つような団体になっていきたい」とし、シンポジウムを締めくくりました。

今後も当協議会は、若者が相談しやすい SNS カウンセリング体制を整えるために、一丸となって取り組みを進めてまいります。

[シンポジウム 参加パネリスト]

◎モデレータ

一般社団法人全国心理業連合会／浮世満理子 代表理事

◎パネリスト

- ・ 特定非営利活動法人 NPO 亀岡人権交流センター／友永まや 事務局長
- ・ 公益財団法人関西カウンセリングセンター／上野大照 SNS 相談事業スーパーバイザー
- ・ 認定 NPO 法人育て上げネット／工藤啓 理事長
- ・ NPO 法人東京メンタルヘルス・スクエア／武藤収 専務理事兼事業局長
- ・ ダイアル・サービス株式会社／今野由梨 代表取締役
- ・ ストップイットジャパン株式会社／谷山大三郎 代表取締役
- ・ 特定非営利活動法人 BOND プロジェクト／橘ジュン 代表
- ・ 特定非営利活動法人メンタルケア協議会／西村由紀 理事
- ・ 特定非営利活動法人りばていOne／坂本美奈子 代表
- ・ 特定非営利活動法人若者メンタルサポート協会／岡田沙織 理事長

